

群馬県高崎市

中心市街地活性化基本計画

【3期計画：令和2年4月～令和7年3月】

江戸～：中山道の整備とともに街道随一の宿場町として繁栄

近代～：東京と鉄道で結ばれたことで商業集積が向上、全国有数の交通の要衝として発展

～現在：人口約37.3万人、面積約459 km²の中核市で、「音楽のある街」として全国に認知

【前期計画(平成26年4月～令和2年3月)の概要】

○高崎駅周辺では歩行者通行量が増加するなど一定の事業効果が表れ始めている反面、中心商店街周辺では賑わいの回復に遅れが見られ、中心市街地全体の活性化には至っていない。

【中心市街地の課題等】

○新たな都市発展を牽引する都市機能の整備

高崎市の新たな都市発展を牽引する都市集客施設等の早期完成と、市内外から来訪者を誘引する施設の有効活用が課題となっている。

○中心商店街への活性化効果の波及

市内外からの来訪者等が中心市街地を回遊するなど、高崎駅周辺地区の活性化の効果を中心商店街に波及させることが課題となっている。

○新旧住民の交流を重視した地域コミュニティの形成

人口減少・少子高齢化が予測される中、中心市街地の活力の“源”となる地域コミュニティの維持・増進が課題となっている。

【目指す中心市街地の都市像】

高崎の活力と新しい文化を創造・発信する

『賑わい・交流・文化都心』の形成

～関東と信越を「つなぐ都市」から「中心都市」「創造都市」へ～

【前期計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値
市民・まちなか居住者・広域来訪者が楽しく回遊できるまち	歩行者・自転車通行量 (休日・14地点)	101,411人/日 (H24)	108,500人/日 (H31)	159,734人/日 (H30)
高い集客力を生かした経済活力にあふれるまち	小売業年間商品販売額	1,172億円 (H23)	1,375億円 (H31)	1,297億円 (H30)
音楽文化を中心とした“高崎文化”を創造・発信するまち	文化施設の利用者数の合計値	612,251人/年 (H24)	1,070,770人/年 (H31)	597,922人/年 (H30)

【新計画目標】

目標	目標指標	基準値	目標値
来訪者で賑わう集客拠点ゾーンの形成	都市集客施設(※1)の利用者数の合計値	883,107人/年 (H30年)	2,235,000人/年 (R6年)
市民や来訪者が楽しく回遊できる中心市街地の形成	歩行者・自転車通行量 (休日・14地点(※2))	49,933人/日 (H30年)	58,800人/日 (R6年)
快適・便利なまちなか居住が享受できる中心市街地の形成	区域内居住人口	28,296人 (H30年)	30,100人 (R6年)

※1)高崎芸術劇場、Gメッセ群馬、高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業で整備されるパブリックゾーン等

※2)2期計画から測定地点を8箇所変更

来訪者で賑わう 集客拠点ゾーンの形成

高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業
パブリックゾーン整備事業
高崎芸術劇場集客推進事業
国際スポーツイベント等開催支援 など

市民や来訪者が楽しく回遊できる 中心市街地の形成

高崎市まちなか商店リニューアル助成事業
お店ぐるりんタクシー運行事業
高崎まちなかオープンカフェ推進事業
中央銀座アーケード街活性化事業 など

快適・便利なまちなか居住が享受できる 中心市街地の形成

高崎駅東口第九地区市街地再開発事業
高崎市居住誘導策
多機能型住居住宅借上事業
地域活動推進補助事業 など

高崎市中心市街地活性化基本計画の事業概要

来訪者で賑わう集客拠点ゾーンの形成

①高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業

高崎駅の利便性や高速交通網を生かして、高崎駅東口にホテルや店舗、オフィスなどで構成する再開発ビルを建設し、高崎芸術劇場と一体で拠点ゾーンを形成することにより、賑わいのある中心市街地活性化を図る。



②パブリックゾーン整備事業

高崎駅東口栄町地区市街地再開発事業により整備される再開発ビルの市権利床を活用して、子ども図書館やキッズスペース、ギャラリー等の整備を中心とし、隣接する高崎芸術劇場との相乗効果により、集客力の高い施設整備を目指す。

③高崎芸術劇場集客推進事業

新たな都市集客施設として開館した高崎芸術劇場において、行政と民間が連携して“音楽のある街・高崎”にふさわしい様々な音楽イベント等を企画・誘致・開催し、まちなかの集客につなげていく。

④国際スポーツイベント等開催支援

新たな大規模集客施設として整備した高崎アリーナで開催する国際的、全国的規模のスポーツ大会の運営等に対して支援を行うことにより、まちなかの集客と活性化を図っていく。

市民や来訪者が楽しく回遊できる中心市街地の形成

⑤高崎市まちなか商店 リニューアル助成事業

店舗の魅力や集客力を向上させるためのリニューアル工事を支援する。

リニューアル助成事業活用例



改装前



改装後

店先がきれいになり売上アップ

⑥お店ぐるりんタクシー運行事業

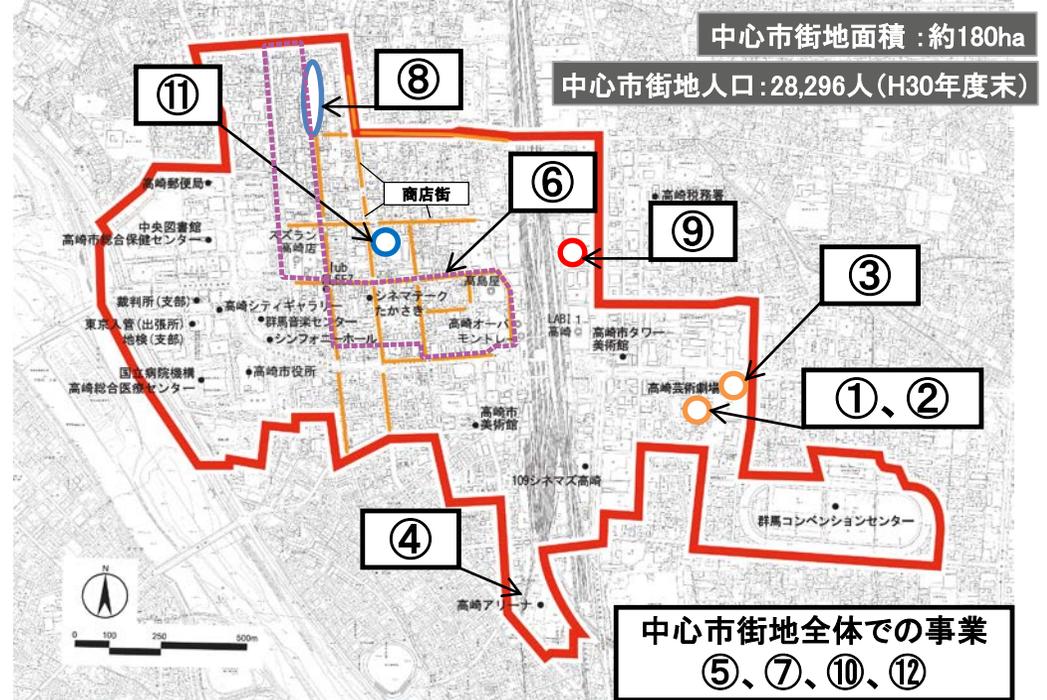
中心市街地を循環する、乗り降り自由で無料の交通手段を整備することにより、更なる回遊性向上を図るとともに交通弱者支援にもつなげる。

⑦高崎まちなかオープンカフェ推進事業

都市再生特別措置法の改正を契機に歩道上でオープンカフェが行えるようになったため、まちなかに新たな回遊性と賑わいを創出するオープンカフェを実施する。

⑧中央銀座アーケード街活性化事業

再整備した中央銀座アーケード街において、各種イベントを実施する。



快適・便利なまちなか居住が享受できる中心市街地の形成

⑨高崎駅東口第九地区市街地再開発事業

当該地区に土地の高度利用を促進するため共同住宅(222戸)、駐車場(278台)等を整備し、都心人口の増加と駅周辺の駐車場不足に対応する。併せて高崎駅東口から当該地区までをペDESTリアンデッキで接続することで歩行者空間の確保と回遊性の向上を図る。



⑪多機能型住居住宅借上事業

多世代間の交流を目的として中心市街地に整備された多機能型住居において、高齢者や介護士、保育士、看護師などの職業を目指す学生等が入居しやすくなるよう、民間管理者に対して市が住宅借上等の支援を行い、まちなかの居住人口の増加を図る。

⑫地域活動推進補助事業

小学校区単位で組織する各地域づくり活動協議会が実施する祭りや清掃活動等、各種事業への補助を、中心市街地地域の協議会に対しても行う。

⑩高崎市居住誘導策

中心市街地の人口増加を図るため、積極的に高度利用地区を指定し、マンションの建設を促進する。